

初期投資0円で太陽光発電設備を設置！

補助金を使ってさらに電気代をスマートに！

令和7年度

第三者所有モデルによる 再エネ設備導入支援事業補助金

太陽光発電設備

需要家が民間事業者の場合

1kW
あたり **5** 万円 ※

需要家が個人の場合

1kW
あたり **7** 万円 ※

※上限額等についてはHP参照

蓄電池

需要家が民間事業者の場合

補助対象
経費の **1/3** ※

需要家が個人の場合

補助対象
経費の **1/3** ※

※上限額等についてはHP参照



募集期間

令和7年4月28日(月) ▶ 令和8年2月10日(火)

※募集期間内に事業を完了し、実績報告書を提出する必要があります

応募対象者

- ① 太陽光発電設備等をオンサイトPPAモデルにより県内の民間事業者等の需要家へ提供するPPA事業者
- ② 太陽光発電設備等をリースモデルにより県内の民間事業者等の需要家へ提供するリース事業者

対象設備

- ① オンサイトPPA及びリースモデルにより導入する太陽光発電設備及び蓄電池

※蓄電池単独の導入は補助対象外

※FIT制度の認定を取得していないこと



山梨県

YAMANASHI

太陽光発電設備の導入比較

導入方法	メリット	デメリット
自社・個人購入	・ サービス料がかからない ・ 交換・処分等をコントロールできる ・ 余剰分は売電可能	・ 初期投資が高額（財務指標への影響） ・ メンテナンスの費用がかかる
オンサイトPPA	・ 基本的に初期投資ゼロ ・ メンテナンス費用ゼロ ・ 使用した電気料金のみ支払い ・ 設備が資産計上されずオフバランスで再エネ調達が可能	・ 自由に交換・処分ができない ・ 長期契約となる
リースモデル	・ 基本的に初期投資ゼロ ・ メンテナンス費用はゼロ ・ 余剰分は売電可能	・ 自由に交換・処分ができない ・ 長期契約となる ・ 発電しない場合もリース料が発生 ・ リース資産として管理・計上する必要がある

「初期投資0円を実現する」とは？

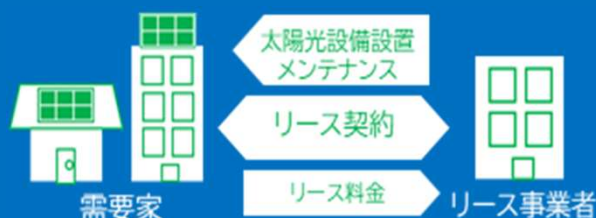
オンサイトPPA

PPA事業者の費用で需要家の敷地内に太陽光発電設備を設置し（所有及び維持管理実施はPPA事業者）、需要家はPPA事業者から電気を購入（余った電気はPPA事業者のもの）。



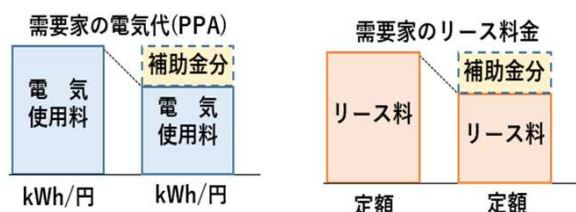
リースモデル

リース事業者の費用で需要家の敷地内に太陽光発電設備を設置し（維持管理実施はリース事業者）、需要家は、電気料金に代わりリース料金をリース事業者へ支払う。発電した電気はすべて需要家のものになり、余った電気は電力会社へ売電することも可能。



需要家への補助金額相当分の控除

- (1) オンサイトPPAモデルの場合、PPA事業者は交付された補助金額相当分を需要家へのサービス料金から控除
- (2) リースモデルの場合、リース事業者は、交付された補助金相当分を需要家へのリース料金から控除



詳細はHPをご確認ください！



第三者補助金HP